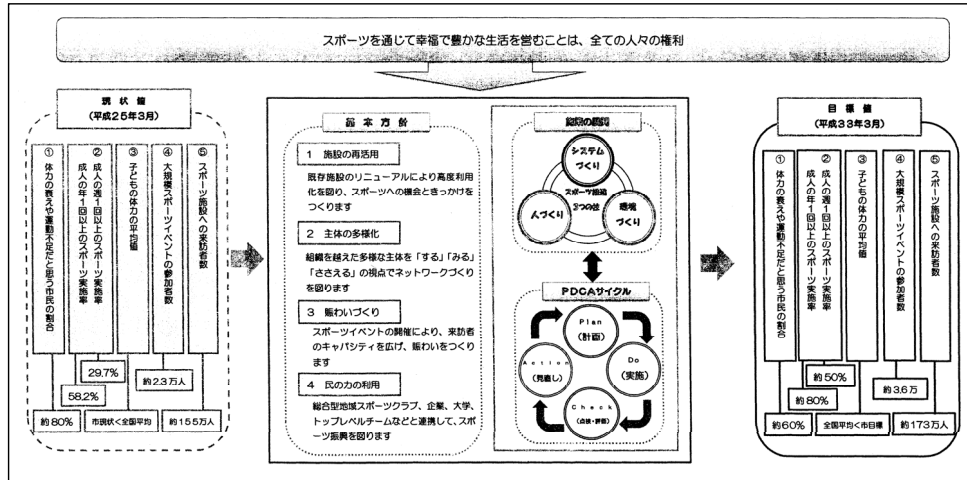


スポーツ推進審議会の運営

高槻市のスポーツ推進計画の策定と実施に向けてスポーツ推進審議会の会長を務め、会議の進行と意見の調整に寄与しています。



スポーツ推進審議会が策定した「高槻市スポーツ推進計画」概要図

活動の概要

目的	スポーツ推進計画の策定に向けた審議会の答申作成と、計画の実施過程における修正案の提言
連携メンバー	大阪府高槻市 / スポーツ推進審議会委員 (高槻市民や学識経験者等) / 関西大学人間健康学部教授 西山哲郎
活動地域	大阪府高槻市
活動期間	2013年5月31日～(継続中)

連携の経緯

高槻市からスポーツ推進審議会委員への就任について依頼があったことを契機として連携が開始。2011年スポーツ基本法の制定に伴い、全国の自治体にスポーツ推進にかかる取り組みが義務付けられ、同市においても審議会が設置された。その際、市内にキャンパスを置く大学から有識者を招致したいという同市からの要請を受け西山が委員就任。審議会の中で会長に選出され進行調整役を務めることとなった。

解決すべき課題

- (1) スポーツ推進計画の策定

大学の役割

スポーツ推進審議会の中で会長を務め、スポーツ推進計画の策定と実施に向けて、会議の進行と意見の調整に寄与している。高槻市は2011年から2020年までの10年間の総合戦略プランを掲げており、その中で「行き交う人々にぎわう魅力あるまち」という将来都市像が描かれている。審議会でもその方針に則り、2020年をゴールとするスポーツ推進にかかる答申を作成。サイクリング・ウォーキング道の整備や障がい者スポーツの振興に加え、子どもの体力向上や高齢者の健康寿命の延長等を目指して、具体的に数値化された目標を設定することとなった。少子高齢社会におけるスポーツの推進計画は、壮年者の行う競技スポーツだけでなく、高齢者や障がい者を視野に入れた健康スポーツの促進が重要である。ウォーキングやハイキングのように以前ならスポーツと見なされなかったものを含め、楽しさを追求する視点を高槻市に継続して提供していく。

成果

- (1) スポーツ推進にかかる答申の作成と実施過程における修正案の提言

今後の展望

- (1) スポーツ推進計画の実施とその過程における問題解決
- (2) 高槻市でのスポーツ指導者不足解消に向けた教員志望学生の投入

研究者の紹介



人間健康学部 教授
西山 哲郎
(にしやま てつお)

スポーツ文化の価値を、個人の健康維持や人間関係に広がりをもたらしものとして評価するだけでなく、地域社会から国際社会までの政治や経済に影響を及ぼすものとして捉え、そのあるべき活用法を検討している。さらに人間の身体文化について、現代社会で通用する能力の探究や人類の未来を開くための可能性を追求している。

いましろ 大王の社
阿武山・今城塚古墳コース
藤原鎌足・継体大王に会いに行こう
全長:約10.3km
所要時間:約3時間55分



▲阿武山古墳
高槻と茨木との市境にある阿武山。その中腹にある古墳は「貴人の墓」の名で知られ、一般には藤原(中臣)鎌足の墓ともいわれています。

▲史跡 新池ハニワ工場公園
日本最大級の埋立工場であった国指定の史跡を公園として整備。家や工房などを復元し、埋立について楽しく学べます。
TEL:072-695-8274

▲關鷯野神社
アマテラスオオミカミなどを祀り、古くは八幡大神宮と呼ばれていました。すぐ北側に古墳時代前期の前方後円墳、關鷯山古墳があります。

▲今城塚古代歴史史館
古代を体感できる歴史博物館。復元された石棺や埋輪、ジオラマの展示などにより、今城塚古墳の全容がわかります。
TEL:072-682-0820

▲史跡 今城塚古墳
総長約350m、総幅約340m。6世紀前半に構築された古墳としても、淀川流域の古墳としても最大級の前方後円墳。継体大王の墓と推定されています。

高槻市のハイキング道(一例)